

令和7年度 SusHi Tech Global事務局の公募に係る質問回答

番号	質問事項	回答
1	<公募要項> ・P.4 ホームページのメンテナンスはどのような内容(コンテンツの追加や更新頻度等)を想定しているか？	・対象スタートアップ・推薦者の決定や、支援プログラム等の受付開始・終了等、事業の進捗に応じて必要な事項を公開するタイミングで更新を予定しています。 ・令和7年9月は準備委託契約の受託者との引継・調整期間とし、10月以降は月2回程度×6月＝12回程度の更新を想定しています。 ・また、対象スタートアップのニュースリリースにあわせた情報発信等も想定しているため、タイムリーな情報発信が可能な体制を構築してください。
2	<公募要項> ・P.5 海外プロモーションにかかる出張に事務局が参加する場合に渡航費・宿泊費は予算に含むという理解でよいのか？	・お見込みのとおり、海外プロモーションに事務局が参加する場合の渡航費等は本協定金に含みます。
3	<公募要項> ・P.11 2.留意事項(6)「各ページ右肩に当該頁が応募フォームのどの項目に該当する事項に関する記述なのか項目番号を示すこと」とあるが、応募フォームとは、「別紙3 審査基準」を指しているという理解でよいのか？	・「応募フォーム」を「別紙3 審査基準」に読み替えていただき、提案書の内容が審査基準のどの項目に該当するかを明示してください。
4	<公募要項 別添> ・P.4 3.両エリアの企画(1) STGステージとIVステージの通訳は必要か？	・IVエリアのインベスターズステージ及びSTGエリアのミニステージの通訳は翻訳ツールを準備し、観客用のモニターに表示する想定であり通訳等は設置しない想定です。 ・一方で、STG エリアには商談等に対応するための通訳(常時2名以上)を設置してください。
5	<公募要項別紙2 協定金の支払に係る評価方法及び KPI の説明> ・P.1 「対象スタートアップ向けイベント企画・情報発信・機運醸成等」について、情報発信のKPIである「50回以上」は「イベント回数・SNS発信回数・ソサエティ内コミュニケーションツールによる情報発信数」を合算した数字という認識でよいのか？	・お見込みのとおり、「イベント回数・SNS発信回数・ソサエティ内コミュニケーションツールによる情報発信数」を合算して50回以上となるようKPIを設定してください。

令和7年度 SusHi Tech Global事務局の公募に係る質問回答

番号	質問事項	回答
6	<説明動画> ・7分56秒頃、11分50秒頃 本協定のスコープについて「STG・IVエリアでの企画・検討・準備」というご説明があったと認識している。「準備」とは機材の準備どの段階まで行うのか。	・4月末にSTT2026が実施されることを踏まえ、必要な工程をご提案ください。提案内容及び都との協議により、令和8年3月末までに必要となる機材の準備等は全て行っています。 ・また、準備により作成した工作物・成果物や開催に向けた調整を行う上で発生した権利義務関係等については、令和8年4月以降の協定事業者を引き継いでいただきます。
7	<公募要項> ・P.2 特別プログラム10件程度というのは一つのプログラムを想定しているか？2つ以上か？	・特別プログラム(第1期)は、最大10社のスタートアップに対し支援を行うことを想定しており、これを10件と表現しています。なお、特別プログラムは複数期に渡って募集する予定です。
8	<公募要項> ・P.4 推薦人らは何名程度を想定しているのか？	・事業目的を達成できるよう、幅広いバックグラウンドを持つ推薦人の選定を期待しています。
9	<公募要項> ・ ホームページの委託業者との役割分担についてもう少し詳しく想定を教えてもらえないか？	・委託事業者はサーバー・ドメインの手配調整、ホームページのデザイン構築を担い、事務局へその環境を引き継いでいただきます。事務局は引き継いだ環境を維持管理するとともに、事業の進捗に応じてホームページの内容を更新していただきます。 ・また、ホームページの立ち上げにあたって必要となる記事内容・コンテンツ等は、事務局において作成いただくことを想定しています。
10	<公募要項> ・P.4 200のロングリストから誘引100社以上・参画決定50社以上の選定について、スタートアップからの申し込みや意思確認、書類提出等のプロセスはどう行う想定か？	・スタートアップのソサエティへの加入については、推薦人による推薦を受けた上で、外部有識者の認定を経ることを基本とし、自薦は認めておりません。 ・以上を踏まえ、KPI達成に向けて適切と考えられる手法をご提案ください。
11	<公募要項> ・P.4 ”ソサエティ内で活用するコミュニケーションツール”は具体的にどういったものを想定しているか？そのツール上では、東京都が参加事業者のすべてのコミュニケーションを見られる仕組みにする必要性はあるか？	・具体的なツールについては、適切と考えられるものを提案者においてご提案ください。 ・都も必要に応じて参加事業者のコミュニケーション内容を確認しますが、対象スタートアップ同士が個別に行うやり取りまで全て見ることは想定していません。

令和7年度 SusHi Tech Global事務局の公募に係る質問回答

番号	質問事項	回答
12	<公募要項> ・P.5 ガイドメンターによるメンタリングについて、メンタリング内容を都へ提出する際、都が期待する記録形式(例:報告書、プレゼンテーション資料など)や提出頻度などについて教えてほしい。	・概ね一月ごとに一覧にまとめた報告を想定しています(具体的には、採択後に都と協議の上決定します)。 ・また、面談の概要が把握できる程度の記録を残していただくことを想定しています。
13	<公募要項> ・P.5 海外プロモーション2回の候補地は決定しているか？	・現時点では未定です。 ・なお、2回以上の活動には、トップセールスなど都との協議により実施する海外プロモーション活動があれば、支援者からの提案に基づき支援プログラムの一環として実施する海外プロモーション活動もあると想定しています。
14	<公募要項 別添> ・P.6 STGエリア及びIVエリアについては企画と整備・運営の区分けについて、少し具体的に教えていただけないか？	・整備・運営とは、空間のデザイン・設計・施工といったハード面に係る準備をしていただくことを指します。企画とは、そのエリアで実施するコンテンツ・プログラムの内容(ソフト面)に係る準備をしていただくことを指します。 ・STGエリアはハード面及びソフト面、インベスターズエリアはハード面での、企画・準備を実施していただきます。
15	<公募要項 別添> ・P.2 "パビリオン"は何か構造物や建物のようなものを想定しているか？それとも建物や構造物は無くても、一つのまとまったエリアであることが色やデザイン等で可視化されていればいいか？	・STGエリア全体が1つのまとまりをもつような構造物を設置することを想定しています。(イメージ画像は説明会動画 13:00～を参照。来場者を視認性を高めるための照明設備やサイン等を設けるイメージです。) ・なお、STT2026全体の会場レイアウトやデザインコンセプト等の影響を大きく受けることが想定されますので、具体的には採択後にSTT2026全体の議論も踏まえながら決定していきます。
16	<公募要項> ・プレゼンテーション審査が「8月中下旬」となっているが、具体的な日付が決まっていれば教えてほしい。	・対象者に対し個別に通知します。
17	<公募要項> ・P.4「なお、本ツールには都職員も参加するため、それを見込んでアカウントを設定する」とは、何を意味しているか(都職員も参加することを配慮しなければならない理由は何か)？	・都も必要に応じて参加事業者のコミュニケーション内容を確認するため、都職員も参加することを考慮に入れてツール選定を行ってください。そのため、ツールの有料アカウントを使用する場合、都職員分のアカウント料も見込んでください。
18	<公募要項> ・P.5「都事業・国事業等との連携に向けた支援」との文章において、具体的に都事業及び国事業とは何を指すか？	・都事業では、TIB CATAPULT、海外VC等誘致促進事業、官民連携インパクトグロースファンド、プレミアムメンタリング等との連携を想定しています。国事業ではJETRO等との連携を想定しています。

令和7年度 SusHi Tech Global事務局の公募に係る質問回答

番号	質問事項	回答
19	<審査基準> ・2(2)「100社以上のソサエティ形成に向けた具体的手法に現実性があるか」の点だが、公募要項では参画決定は50社以上との記載であるが、本審査基準における上記表記では、100社以上を参画させる(＝参画決定)と読めるが要項と相違しているのではないか？	・審査基準を「<u>50社以上</u>のソサエティ形成に向けた具体的手法に現実性があるか」に修正いたします。
20	<審査基準> ・5(1)「同規模」とは今回の限定されたエリア(2,000㎡)との認識でよいのか？	・STTと同等規模のイベントにおけるパビリオン運営及びステージ運営を中核とするようなコンテンツ運営経験があることを想定しています。
21	<審査基準> ・4(2)“支援プログラムが円滑に実施されるために効果的な手法”についてイメージされているものについて、例やご意向に沿う具体案をご共有頂けないか	・支援者と連携したプログラムの工程管理、参加者の調整、会場手配支援等、プログラムを円滑に進める上で必要となるサポートを想定しています。
22	<審査基準> ・協定金の支払に係る評価方法及びKPIについて、KPI件数自体や割り振りは評価外でよいのか？	・KPI設定や金額の割り振りも審査対象となります。
23	<公募要項 別添> ・ミニステージは、なぜ2つ以上のモニター使用するのか意図を教えてください。	・それぞれ投影資料の表示、翻訳ツールを用いた翻訳内容の表示をすることを想定しています。
24	<公募要項 別添> ・商談スペースの数量について、具体的イメージはあるか？	・IV エリア内に設置する「商談ブース」は公募要項に記載のとおり5小間以上設置してください。「商談個室(東京ビッグサイト西棟にある完全個室の部屋)」の数については、今後STT2026実行委員会事務局から割り当てがあり次第確定します。参考までにSTT2025は1室にて実施しました。
25	<公募要項 別添> ・KPIは定量で測れないデザインやコンセプトなどについてはどのように達成を評価するのでしょうか？	・公募要項記載の内容を履行できたかどうかで評価します。